

株式会社オプトラン

2021年12月期決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）QA サマリー

Q1： 第4四半期の受注は回復したが、今年の受注見通しは？

A1： 受注計画は未公表ですが、昨年の受注額と大体同程度の見通しを持っている。新型コロナウイルス感染拡大・半導体不足等の影響等不透明な部分があるため慎重にみている。

Q2： 2022年の研究開発を除く販管費が増える予定であるが、それは来年も続くのか？

A2： その他販管費は、国内研究開発機能の強化は一時的なものである。

一方で、ALD新会社本格稼働による人件費増分は来期も継続する。他、今期の増加予定の中には、生産・出荷の増加に伴う荷造り運賃増加などのビジネスサイクルによるものも含まれている。

Q3： 環境面で気候変動の対応等はどうなっているのか？

A3： コーポレートガバナンスコード改訂に伴い、TCFD開示に向けた対応を進めている。

Q4： 独立社外取締役の考え方・検討状況は？

A4： 当社は、取締役6名のうち、独立社外取締役が2名、社外取締役が1名であり、十分と考えております。

以上